

ごあいさつ



山武市長 松下 浩明

松尾小学校旧校舎は、昭和46年に建設され経年により施設が老朽化する中、子どもたちを取り巻く社会状況は、多様に変化し地域社会の学校への期待、学校の理想像など大きく変わってきており、その変化に対応した教育内容、教育環境の整備拡充が求められ、早期の改築が望まれていました。

新校舎建設に当たっては、様々な観点から検討し、1つ目は、子どもたち、保護者がこの学校に行きたい、通わせたいと思える学校。2つ目は、教職員がこの学校で教えたい、働きたいと思える学校。この2点をコンセプトに計画を進めてきました。

この度完成した新校舎は、各教室のエアコン完備、トイレ洋式化をはじめ、新学習指導要領に沿った今日的な学校とし、その特徴として階段教室、図書室、コンピューター室、視聴覚室、多目的室を一堂にまとめ、この大空間を「学びのステーション」と称し、ICT機器を活用しやすい、児童が伸び伸び学び情報活用能力の向上が期待できる学習環境となっております。

本計画の遂行にあたりまして、より良い学校環境整備に深いご理解と格別なご配慮を賜りました市議会をはじめ関係各位、事業実施にあたりご支援、ご指導いただきました国・県等の関係機関の皆様、さらには高度な技術力に支えられ、安全な施工にご尽力いただいた設計監理・施工業者の皆様へ深甚なる敬意と心から感謝申し上げます。

令和5年4月吉日



Sanmu City Matsuo Elementary School

# 山武市立 松尾小学校

## 建物概要

所在地	千葉県山武市松尾町猿尾383番地
敷地面積	19,124.98㎡
構造・規模	RC造（一部S造）地上3階
主要用途	小学校（校舎棟）
建築面積	1,956.14㎡
延床面積	4,824.09㎡
建物高さ	15.105m
付属施設	①屋外倉庫 : 木造、地上1階、91.22㎡ ②バス停 : S造、地上1階、30.00㎡ ③渡り廊下 : S造、地上1階、73.75㎡ ④ポンベ庫 : S造、地上1階、2.68㎡ ⑤受水槽ポンプ室 : S造、地上1階、8.82㎡ ⑥倉庫1 : S造、地上1階、13.48㎡ ⑦倉庫2 : S造、地上1階、8.02㎡ ⑧備蓄倉庫1（既存）: S造、地上1階、9.60㎡ ⑨備蓄倉庫1（既存）: S造、地上1階、9.60㎡ ⑩屋内運動場（既存）: RC造、地上2階、982㎡

## 工事概要

着工	令和2年7月29日
竣工	令和5年3月31日
設計・監理	株式会社豊建築事務所
改築工事	古谷建設株式会社

## 事業費（令和5年3月31日現在）

全体	3,112,781千円
内訳	改築工事（旧校舎・こども園解体含） 2,508,000千円 外構工事 140,777千円 設計・監理 159,565千円 仮設校舎リース 198,000千円 その他付帯工事 106,439千円

## 財源（令和5年3月31日現在）

全体	3,112,781千円
内訳	合併特例債 1,343,700千円 過疎対策事業債 1,162,200千円 教育整備等騒音防止対策事業助成金 228,080千円 教育施設等整備基金 352,904千円 一般財源 25,897千円

## 新校舎完成までの経過

平成28年9月29日	山武市立小中学校規模適正化・適正配置基本計画公表 平成31年4月1日に松尾小学校と豊岡小学校が統合。現在の松尾小学校を学校位置とし、現校舎を解体し新校舎を建設することが盛り込まれる。
平成29年4月～	新校舎建設の検討開始（仮設校舎設置も含む）
平成29年10月2日	教育委員会協議会にて方向性を説明
平成29年10月11日	総合教育会議で、仮設校舎を建て、現地に建替えることが承認される。
平成30年2月16日	公募型プロポーザル方式の手続開始の公告（基本設計）
平成30年4月19日	基本設計契約相手方が株式会社豊建築事務所に決定
平成30年7月～	児童、保護者、先生方の校舎建築に係る要望ヒアリング実施
平成31年1月31日	基本設計業務完了
平成31年4月1日	松尾小学校と豊岡小学校が統合し新松尾小学校開校
令和1年6月4日	実施設計業務を基本設計請負者の株式会社豊建築事務所と契約
令和1年11月12日	一般競争入札により仮設校舎賃貸借を東海リース株式会社と契約
令和1年12月19日	文教厚生常任協議会で工事説明
令和2年1月17日	市長へ工事説明
令和2年1月24日	議会全員協議会で工事説明
令和2年1月	地元地区への工事説明会
令和2年2月17日	松尾小学校運営協議会への工事説明会
令和2年3月31日	実施設計業務完了
令和2年5月22日	入札公告（総合評価方式）
令和2年7月14日	古谷建設株式会社が建設工事を落札
令和2年7月28日	工事請負契約を議会で可決
令和2年9月1日	2学期から仮設校舎（賃貸借期間：令和2年9月1日から令和4年8月31日）
令和2年10月～	旧校舎解体（期間：令和2年10月1日から令和3年2月5日）
令和3年2月12日	地鎮祭を挙行
令和4年7月11日	校舎棟完成
令和4年8月26日	落成式
令和4年9月1日	校舎棟供用開始
令和4年9月～	仮設校舎解体（期間：令和4年9月1日から令和4年10月31日）
令和5年3月31日	校舎棟除く全ての工事完了

6つの設計方針を基に、「子ども達、保護者がこの学校に行きたい、通わせたいと思える学校」「教職員がこの学校で教えたい、働きたいと思える学校」を目指しました。

### ① 高機能・多機能で多様な学びを創る学校

- ・校舎の中心に、多様な学びに活用できる「学びステーション」を整備
- ・すべての教室に、黒板の代わりに電子黒板を設置し、ICT環境を整備

### ② 教職員の働く環境を向上できる学校

- ・気軽にコミュニケーションが図れる「教師ラウンジ」を整備
- ・管理が行き届きやすい建物構成とし、見通しがよい廊下を整備

### ③ 地域の誇り、愛着の持たれる学校

- ・新しい校舎のメインアプローチを、みんなの記憶に残る学校として整備
- ・既存のヤマモモの木を正門近くに移植し、ヤマモモ広場を整備
- ・周辺の町並みと調和した地域のシンボルとなる景観に配慮

### ④ 安心・安全、ユニバーサルデザインに配慮した学校

- ・明確なセキュリティラインを設け、「守る範囲」を整備
- ・わかりやすいサインにより、ユニバーサルデザインに配慮

### ⑤ 心地よい環境で学べる学校

- ・教室の日照や採光に配慮し、静謐な学習環境を整備
- ・内装の木質化、明るく楽しいトイレ等、あたたかく、潤いのある環境

### ⑥ 維持管理、長寿命化を念頭に置いた学校

- ・シンプルで機能的な平面計画や外観でデザインで、コストを抑制
- ・ライフサイクルコスト削減を目指し、各種仕上げや機器を選定



正門前に移植された「ヤマモモの木」が子ども達を見守ります



階段教室は「やまももホール」と名づけられました

### 子ども達を迎い入れる昇降口

天井には、地元で伐採された「サムスギ」を採用し木の温もりが感じられる空間としました。



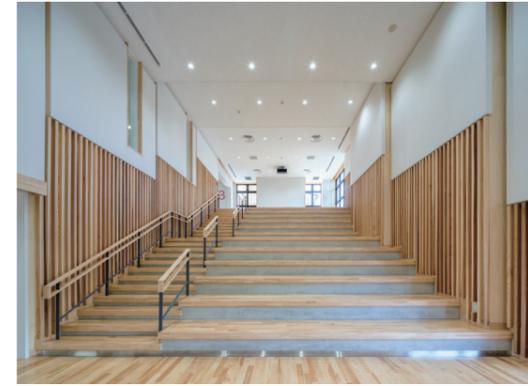
### 新しい教育に対応した普通教室

電子黒板の標準装備、廊下側にロッカー、窓側に教師コーナー等を設けた新しいスタイルの普通教室。



### やまももホール（学びのステーション）

子供たちの発表の場、映像鑑賞、集会など、様々な活用が可能な階段教室を整備しました。



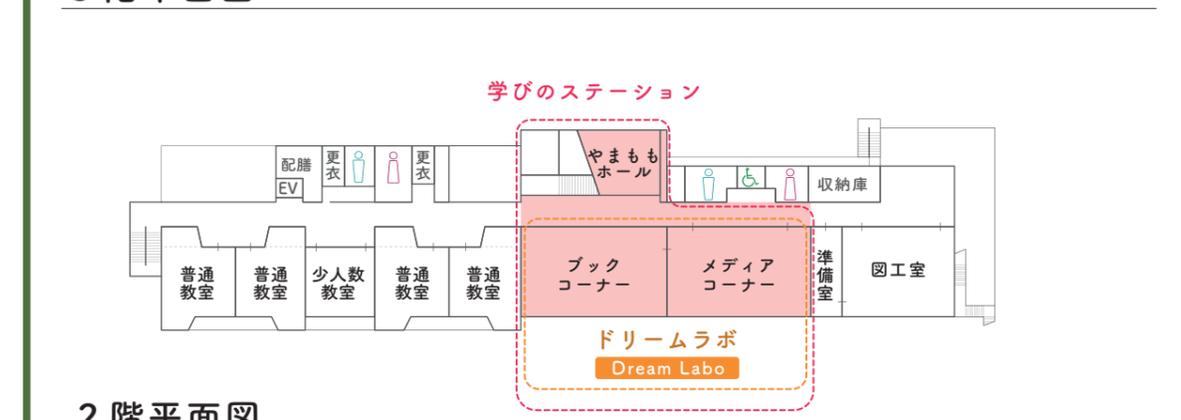
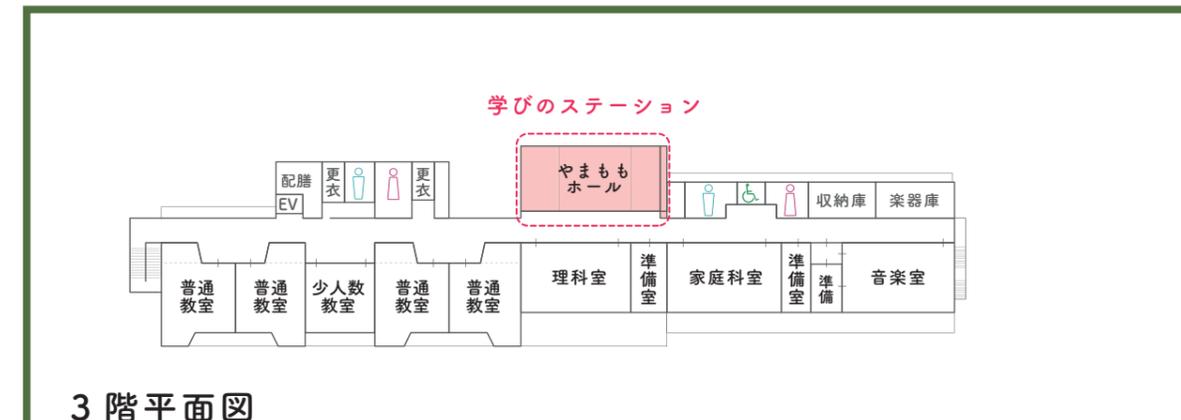
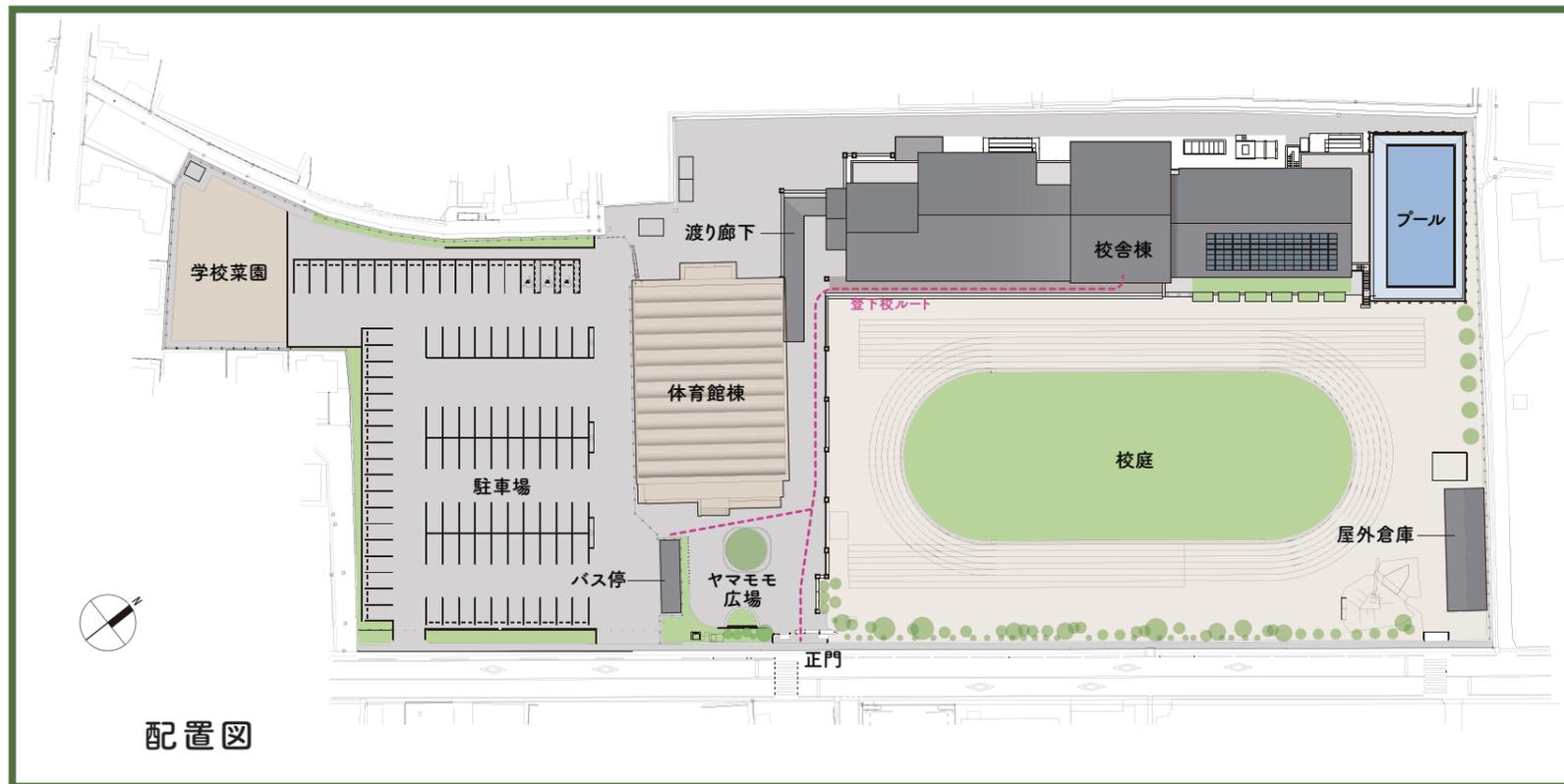
### ブックコーナー（ドリームラボ）

気軽に本が手に取りたい図書館を目指しました。読み聞かせ空間として、大きな小上がり空間を設置しています。



### メディアコーナー（ドリームラボ）

アクティブラーニングが行いやすい学習環境として整備。実物大のワイド映像が投影できるスクリーンを設置。



### 電子黒板が設置された理科室

全ての特別教室には、普通教室と同様、電子黒板が標準装備されています。



### 低学年エリアに設置した「DEN」

子どもの達のくつろげる空間として、低学年のトイレの前に、「DEN」を設けました。



### 快適なトイレ空間

全てのトイレにおいて色や形を変化させ、さらにベンチを設け、快適なトイレの空間を目指しました。

